

総合防災 ICT の取組

JTEC では、総務省の調査事業を受託し、地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）の海外への導入・普及のための技術支援を実施しています。

近年、自然災害への迅速な対応が地球的課題となっている状況にあります。特に防災インフラが脆弱な発展途上国においては、複数の自然災害により甚大な人的被害等が発生しており、被害を事前に防止するための取組み、復旧、復興などが緊急の課題となっています。中南米では、各国の基盤的な防災用通信システムとして地デジを活用することを要望されていることから、JTEC では EWBS（緊急警報放送）について現地要求により適合化させた改良を行い、スイスの国際協力機関 ATTAC¹等、国際機関とも連携して現地への導入支援に取り組んできました。

[EWBS 海外普及支援取組み紹介ビデオ](#)

2022 年度には、国内の有識者を集めた「国際協力のための総合防災 ICT 研究会」を運営開催し、世界標準 CAP²と放送技術を組み合わせた「EWBS-CAP ハイブリッド方式」を提案しました。

[研究会報告書公開サイト](#)

2023 年度は、この技術の先駆けである神戸市外国語大学・芝教授研究グループと協力して、海外向けプロトタイプの研究開発に取り組みました。また、コスタリカ、エルサルバドル、ニカラグアの中米 3 カ国に対して、実証実験に向けた現地調整を進めるとともに、ITU-D へのプレゼンや CAP 普及のための世界会合との連携を図り、本システムの新規性、有効性のアピールに努めました。

これらの活動が実を結び、3 月にはエルサルバドルにおいて初めてプロトタイプ試験実装に成功し、地デジ放送エリアにおいて強靱かつ迅速な伝達特性を実証することができました。今後とも、「EWBS-CAP ハイブリッド方式」の改善に取り組むとともに、発展途上国への社会実装に努めてまいります。

¹ ATTAC : スイス政府が資金提供する中米における緊急地震速報導入促進プロジェクト（Alerta Temprana de Terremotos en América Central）

² CAP (Common Alerting Protocol) 災害情報を一元的に集配信するための共通プロトコル。ITU 世界標準で、海外の多くの国で導入が進んでいる。



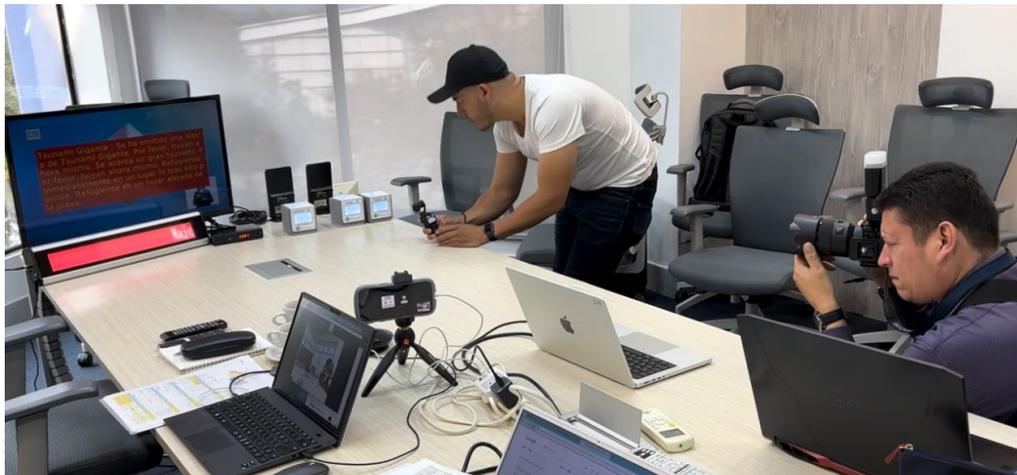
神戸市外国語大学・芝教授研究グループとの共同研究開発の様子

エルサルバドル国営放送局
(Canal 10) にプロトタイプを実装

エルサルバドル



地デジ放送エリア内において、CAP/EWBS信号の期待通りの受信を確認



エルサルバドルにおいてプロトタイプ試験実装に成功 (2024年3月 サンサルバドル)